

13:50～14:35

講演-2 『超高速空間光通信の最先端』

講師 NICT ワイヤレスネットワーク総合研究センター

宇宙通信研究室 宗正 康 氏

概要-2: 光の空間伝搬による通信は, レーザ発明時点より宇宙空間における有力な通信として構想され, 長い間関連する各種技術の基礎研究が行われてきたが, NICTにおいて, 1996年に静止軌道-地上間, 2006年に低軌道-地上間にて世界初の実証実験に成功をきっかけに, 世界中の宇宙機関が電波による高速・大容量通信に代わる通信として, 実用化に向けた研究開発が活発に行われている. 本チュートリアルでは, 宇宙光通信システムの歴史, 基本技術を紹介しつつ, 最新の研究開発動向について紹介する.

— 休憩 14:35～14:45 —

14:45～15:30

講演-3 『可視光通信実用技術および可視光 ID とその標準化』

講師 VLCA 鈴木 修司氏

概要-3: 可視光通信では従来の光ファイバー通信や赤外光通信と比べて大きな外乱光の存在や LED 送信発光源の周波数特性などについて対策が必要となります. ここでは実用的な可視光通信受信, 送信に必要な技術について解説します. また LED 照明からの光ビーコンとして等の使い方が想定されており, JEITA(電子情報技術産業協会) CP-1222, CP-1223 として標準化された可視光ID規格の定められた経緯, 内容について解説します.

15:30～15:35

閉会挨拶 PN 研究会委員長 大木 英司 教授

電気通信大学 情報理工学研究科 教授

- 以上 -

多数の方のご参加をお待ちしております.

主催:

フォトニックネットワーク研究専門委員会

超高速フォトニックネットワーク開発推進協議会
